

『 芒 種 便 り 』



センター新体制で

後志教育研修センター
所長 長谷川 誠

新年度がスタートして2カ月が経過しました。今年度も授業実践をベースに、集合形式の研修講座を開講していきます。4月当初の申込受講者は780名を超え、昨年度を大きく上回っています。特に、小樽市からの受講者が大幅に増加していることが特徴的です。先生方の研修に対する真摯な姿勢に心より敬意を表したいと思います。

今年度の当センターの体制は、副所長に加藤数馬校長（北陽小学校）、小樽市からは林憲幸教頭（稲穂小学校）、兼務所員には研修部長として、以前に調査研究主事の経験のある清水学治教諭（京極小学校）がその任に就いています。

学校教育の新規所員は3名、中島佳美教諭（大川小学校）、平間侑弥教諭（岩内東小学校）、秋森美南教諭（共和中学校）。そして社会教育は全員が交代し、中村貴人社会教育主事（古平町教育委員会）、遠藤純貴社会教育主事（共和町教育委員会）、上仙知巳係長（蘭越町教育委員会）、馬淵日向主事（仁木町教育委員会）、渡辺美月社会教育主事（真狩村教育委員会）が新しい風を吹かせてくれます。どうぞよろしくお願い致します。

『人間だけが持つ能力』

人間だけが持つ能力という話を聞いたことがありますか。人工知能（AI）に対して、人間だけが持つ3つの能力とは、①創造力（Creativity）ものごとをつくりあげる能力、②接客力（Hospitality）親切なもてなしの能力、③管理力（Management）特に心の面における能力であると言われています。

ノーベル物理学賞受賞の江崎玲於奈氏博士は、人間の知性は「分別力」と「創造力」の大きく2つに分けられると言っています。「分別力」とは、既に知られている知識や情報を集めて解析し、理解・判断・公正に分別する能力を言い、聴く・読む・覚えるという『教わる教育』で養われ、日常生活の必須の力のことです。それに対して、「創造力」とは、豊かな想像力（Imagination）と先見性を基に全く新しいアイデアを生み出す力で、疑う・調べる・考えるを基本とした『自ら学ぶ教育』で養われる能力のことです。

AIは今後人間をはるかに超える分別力を備えてくると、以前から博士は指摘しており、その時、私達人間にできるのは、AIにはない創造力を活かすことである。この創造力こそが改革と進歩の原動力となって、これまでに人類の文明を発展させてきた。そして、これからも、人類の文明を発展させるものであると言っています。

まとめますと、「教育するという営み」は人としての感情を吹き込むことであり、単なる知識や情報の教えではなく、教師自身が心と頭で描いた「創造力」で子供の心に届くメッセージを伝えることでもあります。子供たちの人間性を育むことです。これはAIは出来ません。

結びになりますが、昨年度に引き続き、全課程を修了した先生方に『研修講座受講証明書』を発行します。校長先生に報告し、研修履歴に記入するなど、ご自身のキャリアステージに活用していただければと考えています。今年度も現場の実践に有益となる研修講座を運営していきますので、忌憚のない声を聞かせて頂きたいと思致します。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



《R6.6.1》